

(様式第2号)

## 福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 社会福祉法人 ショコラ

評価実施期間 令和元年6月25日～令和2年3月31日

### 1 評価機関

名称	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島市星ヶ峯4丁目2番6号

### 2 事業者情報

【令和元年8月5日現在】

事業所名称： 社会福祉法人 ショコラ (施設名) かごしまショコラ保育園	サービス種別：保育所
開設年月日：2013年4月1日	管理者氏名 理事長 西本 紀一郎
設置主体：社会福祉法人ショコラ	代表者 職・氏名 理事長 西本 紀一郎
経営主体：社会福祉法人ショコラ	代表者 職・氏名 理事長 西本 紀一郎
所在地：〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上6丁目22番18号	
連絡先電話番号：099-801-4550	FAX番号：099-206-5666
ホームページアドレス なし	E-mail

#### 理念・基本方針

- 1) 私たちは子育て支援を通じて、未来ある子どもたち、ご家族、関わる全ての人達を満足させることを目指します。
- 2) これを実施することで職員の物心両面にわたる幸福と充足を目指します。
- 3) 保育サービスの在り方を変革し、より良い子育て環境を構築し地域のみならず、全国に保育事業をもって貢献します。

#### 【施設・事業所の特徴的な取組】

##### ○音楽カリキュラム

年齢に関係なく楽しめる時間として音楽に力を入れております。クラス単位、保育園全体で音楽に取り組む時間をカリキュラムの中に取り入れ、リトミックや楽器に触れています。また、職員によるサクソやホルン、トランペットなどの楽器の演奏会もあり、音楽を身近に感じられるようにしています。

○異年齢保育

縦割り保育（兄弟児保育）を保育の基盤とし、少子化、核家族化に伴い家族の関係が希薄となっている現代において家族間の絆を深めていくことに念頭を置いた保育を行っている。

○郷中教育

鹿児島県の伝統的な教育法である郷中教育を取り入れ、将来の日本を支える人材を幼少の頃から育てていきたいと考えている。郷中教育とは先輩が後輩を指導し、同輩がお互いに助け合う、いわば学びながら教えていく、教えながら学んでいくというものである。

【利用者の状況】

定員 90名	利用者数 79名
--------	----------

※施設種別ごとに、利用者の年齢階層、利用期間、障害の程度・内容など、その施設の特徴が明らかになるようなデータを適宜添付してください。

利用者の年齢階層

年齢区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上
人数(人)	5人	13人	15人	13人	16人	17人

【職員の状況】

職 種	勤務区分				※常勤換算	※基準職員数	
	常勤(人)		非常勤(人)				
	専従	兼務	専従	兼務			
理事長		1人					
園長	1人						
保育士	11人		7人				
事務/調理	3人		4人				
前年度採用・退職の状況			採用	常勤	0人	非常勤	1人
			退職	常勤	2人	非常勤	1人
○常勤職員の当該法人での平均勤務年数						・3～4年	
○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数						・3～4年	
○常勤職員の平均年齢						・35歳	
○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢						・35歳	

※常勤換算数及び基準職員数は、当該職について、運営基準等で定められている場合のみ記入してください。

### 3 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月25日～令和2年3月31日
受審回数（前回の受審時期）	4回（平成30年度）

### 4 評価の総評

#### ◇特に評価の高い点

- ・ ショコラ手帳は職員の行動の指針として携帯し全体会・勉強会で唱和すると共に、行動目標毎にスピーチを行うことで、更に内面化され、行動規範となっている。
- ・ 職員の就業への意欲を把握すると共に、現行の有給取得率70%から完全消化にむけて取り組んでいる。職員の産前・産後休暇及び育児休業制度の活用と共に、残業時間を短縮し、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働きやすい職場作りに取り組んでいる。また、職員1人に対して2万円までの医療費を助成し健康保持に対して支援を行っている。
- ・ 開設直後より、完全給食の実施及び7時から19時までの保育時間に取り組む、保護者の負担軽減に努めている。
- ・ 入園のしおりは、青空の下に保育所の全景が映し出されており、色彩もよく子どもの興味をひきやすく、内容も12枚あり、文字の大きさ・見出し・写真の挿絵等を取り込み保育内容がとても分かりやすく記載されている。
- ・ 兄弟保育や異年齢保育を取り入れた保育を実践し、異年齢の5～6人が同じ食卓に着き、食事中に年長児が年少児にアドバイスやお手本を見せながら、友達の家族や秋祭りの出し物や昨年の祭りの様子などテーブルのメンバー全員が話すなど異年齢保育の良さが出ている。

#### ◇改善を求められる点

- ・ ホームページを活性化することで、更に保育園の基本理念、運営方針・目指す子ども像及び経営状況等が広く周知されることを期待したい。
- ・ 中・長期計画に数値目標を明確化し、収支計画を策定すること、並びに事業計画策定過程・評価・見直しの記録を残されることを期待したい。
- ・ 第三者評価の受審のプロセス、その結果を活用した組織的・継続的な更なる保育の質の向上への取り組みに期待したい。
- ・ サービス場面ごとの標準的な実施方法を文書化したマニュアル作成が求められる。
- ・ 毎月のミーティングでサービス内容や改善に向けて検討されているが、継続性・計画性の観点からみると、文書化できていない部分やマニュアルなどの充足が求められる。

### 5 利用者調査の結果(別紙)

## 6 事業者の自己評価結果(別紙)

## 7 第三者評価結果に対する事業者のコメント

改善事項の解消のため、真摯に努力していきます。  
(ホームページの改善等、できるところから鋭意改善を図っているところ  
です。)

# 福祉サービス第三者評価基準

## 【 共 通 版 】

H28年4月1日改定

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a (b) c
<p>評価概要:入園のしおり及び重要事項説明書に基本方針、運営方針を記載すると共に、園運営の基本である目指す子ども像「負けるな。嘘を言うな。弱い者をいじめるな。」を掲げている。職員に対しては、入職時に配布している「ショコラ行動手帳」に法人としての理念、基本方針及び行動目標が記載され、各種会合時に唱和すると共に、毎月の全体会で行動目標に対する評価を発表している。今後はホームページ等も活用して、更に周知を広げられることを期待したい。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a) b c
<p>評価概要:社会福祉事業全体の動向は、国、県、市及び各種団体からのメール便や、県・市の開催する説明会、研修会に積極的に出席し、具体的に把握している。子育てサロンに参加する中で、民生委員、児童委員、地域住民から地域の需要、ニーズに関する課題を把握している。また、毎月、税理士が事業所を訪問し、コスト分析、利用者の推移、利用率を把握し、事業運営に対して指導、助言を行っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	(a) b c
<p>評価概要:毎月、理事長、園長、事務長、主任保育士、副主任保育士参加による幹部ミーティングを開催し、経営状況、経営課題について協議が行われている。経営状況、経営課題は全体会で情報提供し、日々の運営で生じる新たな課題についても全職員で解決・改善にむけた具体的な取り組みが行われている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b) c
<p>評価概要:平成30年から令和2年までの中・長期計画として目標を明確化し、各年度毎の保育内容、設備、人事労務・給与制度、経営基盤、地域ニーズの達成目標を掲げている。今後、具体的な数値目標を明記すること及び、中・長期の収支計画を策定されることを期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b) c
<p>評価概要:単年度の事業計画書及び資金収支予算書が策定されているが、中・長期計画の内容が反映されているとは言い難く、中・長期計画を反映した事業内容を具体的に策定されることを期待したい。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ <b>(b)</b> ・c
評価概要:事業計画は、分野毎に主任及び副主任保育士が協議して集約された内容を反映して策定されている。また、事業実施後に保護者に行ったアンケート調査を参考に次年度の行事計画策定に反映している。今後、事業計画の策定過程の記録、計画の評価・見直しの記録を残されることを期待したい。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	<b>(a)</b> ・b・c
評価概要:単年度の行事及びカリキュラムの内容は入園のしおりに記載すると共に、玄関に掲示され、保護者への周知が図られている。また、保護者への説明会は3日間開催し、保護者の参加率の向上に努めている。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ <b>(b)</b> ・c
評価概要:定期的に自己評価や第三者評価を受審し保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われている。職員の自己評価及び面接を通して集約された結果を園の自己評価として位置づけている。そのプロセス、また結果も活用して組織的・継続的に保育の質の向上に取り組まれることを期待したい。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ <b>(b)</b> ・c
評価概要:職員の自己評価の結果及び中・長期計画の課題は共有化され、各ミーティングで改善策を策定している。また、課題に取り組むに当たって、環境の変化などにより変更が必要となった場合の見直しも臨機応変に取り組まれている。改善課題の評価結果の分析やそれに基づく課題などの検討過程の記録を残されることを期待したい。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	<b>(a)</b> ・b・c
評価概要:管理規程を整備し、自らの責任と役割に関する職務分掌を明記すると共に、全体会及びシヨコラ集会に出席し、表明して周知を図っている。特に、シヨコラ集会では命の大切さや季節毎の健康に関する講話を行い、事故、病気などの予防に努めている。管理者不在時の権限移譲や有事の管理者の役割は各種マニュアルに明記されている。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
評価概要:法人の業務管理体制整備規程に法令遵守規定を明記し、利害関係者と適切な関係が保持されている。管理者は官公庁及び私立の各種団体が開催する法令に関する研修会に積極的に出席し、最新の遵守すべき法令などを理解すると共に、職員に対して講話を行い、周知が図られている。全国の事故事例を検証し、安全運転管理規定の見直しを行っている。		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p>評価概要:園長は各種会議に出席し、保育士からの情報発信を受け止め、保育の質に関する課題や問題点を把握すると共に、その解決に対する支援を行っている。職員の教育・研修のために各種研修を職員に周知すると共に、積極的に研修参加を支援している。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	(a) b c
<p>評価概要:園長は毎月の税理士及び社会労務士による経営診断を受けて、経営の改善課題を明確化し、経営の改善や業務の効率性の向上に向けた取り組みを職員と共有化している。特に課題となっている人材確保のためにハローワーク及びシルバー人材センターとの連携を図っている。急を要する案件に対しては、幹部ミーティングに問題提起し、法人内での解決を図っている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b) c
<p>評価概要:中・長期計画に必要な人材確保に関しては「安定的な園の運営を図るための職員体制を構築する。」と記載され、具体的な職種、人数などの数値目標は明確化されていないが、幹部ミーティングの中では具体的な数値目標が検討されている。主任保育士が小学校を訪問し、施設の概要及び保育士の役割について説明を行っている。また、実習校及び協議会との連携を通して、施設に求められる人材についての説明を行っている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b) c
<p>評価概要:ショコラ行動手帳には期待する職員像及び職員の考え方、情熱、能力、成績を評価する行動目標が明記されている。職員の処遇は行動手帳の自己評価及び面接の後、幹部ミーティング及び理事会を経て決定されている。また、職員就業規則を定め、職員の採用、配置、処遇、評価の仕組みを明記すると共に、書類を玄関入口に開示している。今後、面接及び自己評価を年2回に増やし、更に総合的な人事管理を行うことを検討中である。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a) b c
<p>評価概要:職員の就業への意向を把握すると共に、現行の有給休暇取得率70%から完全消化にむけて取り組んでいる。職員の産前・産後の休暇及び育児休業制度を活用すると共に、残業時間を短縮し、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。また、職員一人当たり上限2万円を支給し、法人のクリニックでの予防接種などが無料で受けられる仕組みを整えると共に、職場内に相談しやすい雰囲気を作り、早期に問題解決に努めている。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要:ショコラ行動手帳に示された「期待する職員像」の各評価要素毎に評価区分を5段階に設けて、毎年1回自己評価を行うと共に、一人ひとりの職員の課題及び目標を記載している。職員の目標管理シートを用いて個別に面接を行い、研修計画などに反映している。今後、自己評価及び面接を年2回行うことを検討中であり、更なる職員のモチベーションの向上に貢献されることを期待したい。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b) c
<p>評価概要:「期待する職員像」はショコラ行動手帳に明記し、毎月開催している全体会で重要な行動目標の唱和を行うと共に、行動目標毎のスピーチを2名の職員が行っている。また、全体会で各組の事例発表を計画すると共に、保育士等キャリアアップ研修の分野別研修計画が策定されている。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a) b c
<p>評価概要:自己評価及び面接から得られた職員の研修希望やミーティングにより年間の研修計画を策定し、実行している。研修で得られた知識・技術などは全体会で共有化すると共に、報告書を作成し回覧している。報告書は管理ミーティングで共有化すると共に、指導・教育を行っている。研修成果を活用した実践を行い、事例研究に取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a (b) c
<p>評価概要：実習生受け入れマニュアルを策定し、主任保育士が担当窓口となり実習校に出向いて実習カリキュラムを理解し、職員と共有化している。子ども・保護者に対しては事前に説明を行っている。実習効果を高めるために、実習担当者を配置し一人ひとりの学生に指導を行っている。今後、実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化されることを期待したい。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a (b) c
<p>評価概要：保育所の理念や基本方針、保育内容、事業計画、事業報告、予算、決算及び第三者評価結果は冊子に整理して玄関に設置すると共に、日本財団のホームページを活用して公開している。また、秋祭り等の行事を地域に周知するために、ポスターを商店等に掲示している。今後、事業所のホームページを更新して、情報発信することを検討中である。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	(a) b c
<p>評価概要：社会福祉法人ショコラの経理規定を策定し、事務、経理、取引のルール及び職務分掌を定めると共に、職員に周知している。毎月、公認会計士及び社会労務士による外部監査を受けて、事業の経営管理、財務管理、組織運営等について助言・指導を受けると共に、経営改善に取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	(a) b c
<p>評価概要：運営方針に、「郷中教育を取り入れた鹿児島島の地域教育を発信し、地域社会に必要なとされるサービスを利他の心を持って提供します。」と明記すると共に、地産地消を中心に鹿児島島の食にこだわり、郷土食や行事食に取り組んでいる。また、法人が高齢者福祉事業を展開しており、子どもと高齢者の関わりを生かした育み（異世代保育）に取り組んでおり、地域の敬老会に毎年参加している。管理者は町内会に加入し、町内会の行事に参加すると共に、子ども達の園外散歩の時には交流が行われている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b) c
<p>評価概要：ボランティア受け付けマニュアルを策定し、ボランティア活動に関する基本姿勢を明文化すると共に登録手続き、事前説明等に関する内容が記載されている。小学校・中学校の職場体験や高校生のインターシップ等、地域の学校教育施設・体験教室等への連携が期待される。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	(a) b c
<p>評価概要：子どもの最善の利益を守るために、必要に応じて、保健所、児童相談所、病院、通所施設、学校等との連携を図っている。保育園は鹿児島市の「にこにこ子育て応援隊」の認定団体として登録され、地域の子育てサロンの運営に協力すると共に、活動を通して地域の関係機関・団体の共通の問題に対して協働して取り組んでいる。また、保護者の労働時間に配慮して、開設当初より長時間保育を実践している。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a (b) c
<p>評価概要：昨年より「秋祭り」を開催し、地域住民に参加を呼び掛け、園庭を開放している。また、地域の子育てサロンに講師として派遣し運営に協力している。災害発生時の避難場所として、子ども達の垂直避難を想定した訓練を継続して行っている。今後、保育所の機能を地域に広く発信することで、その機能を地域に開放・提供する取り組みが強化されることを期待したい。</p>		



27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要:日常的に児童委員・民生委員との連携を図る中で、地域の一時保育ニーズが提起され、中・長期計画に一時保育サービスの充実や地域利用者のニーズに応えることを掲げている。また、保護者の負担軽減を目的に、開設当初より保育時間を7時から19時まで開放すると共に、完全給食に取り組んでいる。「秋祭り」及び地域子育てサロンの運営協力を継続して行い、新たな地域ニーズを開拓されることを期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要:シヨコラ行動手帳に、利他の心をはじめ、人権尊重・子どもの尊重に関する行動目標を設定すると共に、基本方針で職員の物心両面にわたる幸福と充足を目指すことを掲げている。行動目標は全体会及び研修会で唱和すると共に、職員によるスピーチを行い、内面化を図っている。子どもは園の方針である郷中教育、縦割り教育の中でお互いを尊重する態度が育てられている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要:プライバシー保護マニュアル及び虐待防止マニュアルが策定され、全体会・勉強会で研修を行い周知徹底が図られている。排泄、衣服着脱時などの場面では羞恥心に配慮すると共に、間仕切りの設置が行われている。また、心身の不調が認められる子どもに対しては、静かに休憩できる部屋が設置されている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要:施設概要、基本方針、運営方針、保育園のしくみ、年間行事、一日の流れ・カリキュラム、健康・保健、災害・安全管理、食事、個人情報保護、持ち物、購入品等について記載された「入園のしおり」を鹿児島市保育園協会やりぼん館等へ設置している。入園のしおりは毎年改定され、写真、絵や図を用いて分かり易い内容となっている。また、見学希望者に対しては随時、個別の対応が行われている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 保育開始時の説明は「入園のしおり」「重要事項説明書」を用い主副主任が説明している。入園のしおりは、文字も大きく各項目見出しがあり、説明内容がわかりやすい配慮がある。写真を使った保育場面や持ち物と年齢を表にしたリストがある。持ち物は保護者の質問を受けるので絵で表示したり現物を見せ、わかりやすい工夫をしている。配慮が必要な保護者への説明は、園長が対応している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要 保育所等の変更時は、保育所保育要録を作成し送付している。先方の問い合わせは、ほとんど電話で報告している。変更後の相談窓口や相談者は、口頭で伝えている。保育の継続性に配慮した手順と引き継ぎ文書は作成していない。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要 保護者満足の把握は、保育情報ソフト「コドモン」・送迎時・行事参加・個別面談・保育参観で意向や意見・提案を確認し、毎月の全員会議で話し合い改善に取り組んでいる。保護者対応のアンケートは、毎年2月に実施し結果分析検討を行い、公表している。快適な保育を展開するために、運動会や発表会の会場探しは今年の課題として取り組んでいる。子どもの満足の把握は、明るく元気に楽しく遊ぶ等、保護者の視点で判断している。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 苦情対応マニュアルを作成し、責任者・担当者を明示し苦情解決の仕組みが確立している。第三者委員を設置し掲示している。意見箱を設置し意見を述べやすい体制づくりをしている。苦情受付から報告書の記録があり、結果は保護者にフィードバックし公表している。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	<b>a</b> ・b・c
<p>評価概要 第三者委員の設置や相談窓口・相談員を掲示し、保護者に周知している。保護者は、直接子どもの保育に接している担任に相談することが多い。相談や意見について、職員は保育情報ソフト「コドモン」で確認し情報の共有を図っている。相談室は、プライバシーを保護したユニットハウスを設置し、保護者の就業の都合などに配慮している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 苦情対応マニュアルに沿って相談や意見は対応している。受付から報告書までの記録があり、結果は保護者に報告し公表している。保護者から相談や意見を受けた職員は、保育情報ソフト「コドモン」や送迎時に対応している。解決できない場合は、ミーティングで話し合いを行い改善に向けている。相談や意見の記録・対応の方法・定期的な見直し等を含んだ作成が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 ヒヤリハット・事故報告は、クラス担任が中心になり園長・主任に報告している。毎月のミーティングで要因や再発防止を検討している。健康マニュアルの中に起こりやすい事例を列挙し、対応策を記載している。クラス毎に感染症の一覧表を掲示し、職員・保護者に周知している。事故対応マニュアルの拡充が望まれる。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 感染症マニュアルを作成している。感染症発生時は、保育情報ソフト「コドモン」で保護者に予防や対応策を連絡している。子ども達は、うがいや手洗いを励行している。職員は活動毎に強酸性水で清掃し、トイレは最後に行い予防に努めている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>評価概要 年間計画表に基づき毎月火災・地震・水害の避難訓練・消火訓練・消防設備点検を実施している。予告なしの訓練も年4回実施している。地震は頭巾やヘルメットをかぶり避難できるように取り組んでいる。水・カンメン・救急セット・簡易トイレ・マスク等を備蓄している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要 個々の保育場面ごとに文書化し、各クラスに配置している。職員はいつでも閲覧でき、共通理解して保育にあたっている。毎月の評価で標準的な実施方法を見直ししている。標準的な実施方法は、それぞれの基本技術に加えて、留意事項を記載している。実施時の子どもの尊重や個性を尊重することの記載はない。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要 個別計画は、毎月担任が評価し、ミーティングで情報共有している。見直し内容は、年度末に主副主任を交えて検討会議をしている。保護者の意見や提案はアンケートを集計し反映している。標準的な実施方法の検証・見直しについて文書化し、指導計画の内容を反映した記録等整備されることが望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要 指導計画は、クラス担任が策定している。児童票・生育歴や保護者面接を通し、情報収集を行い意向・要望を聞き個別指導計画に取り入れている。除去食対象の場合は、栄養士の意見や発達が気になる場合は、保健師・臨床心理士の意見を参考にしている。毎月自己評価しミーティングで共通理解をしている。保護者の意向確認の方法も組織的に取り組み、保育内容に反映されることが望まれる。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要 指導計画は、年間4期に分け各期で見直し評価している。変更内容は、朝礼・保育情報ソフト「コドモン」・申し送りノートで周知している。保護者・子どもの意見反映や組織的な仕組みは定めていない。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要 子どもに関する記録は、統一した様式で記録している。毎月のミーティングで職員間の共通理解をしている。職員の記録内容や書き方は、主副主任が指導している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要 個人情報の記載のある書類は、事務所の鍵付き戸棚に保管している。文書取扱い規則で記録保管・廃棄・開示に関する規定を定めている。職員は入職時に研修を受け守秘義務を厳守している。保護者は、入園時に説明を受けている。その後の記録管理や取扱いについて説明は受けていない。電子データの管理は、取り扱いや情報漏えい対策を行っている。</p>		

# 福祉サービス第三者評価基準

(様式2)

## 【 保育所版 】

[ H28改訂版 ]

### 第三者評価内容評価基準（保育所版）

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		第三者評価結果
A① A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a b・c
<p>評価概要</p> <p>①保育課程は、基本方針・運営方針・保育指針の趣旨を捉え保育の基本指針に基づき作成している。子どもの発達過程に応じ連続性に留意した編成になっている。異年齢児保育・年齢別保育・兄弟児保育や一時保育・延長保育など家庭の状況にも配慮した保育を取り入れている。保育課程は、年に1回評価を行い、次年度の編成に活かしている。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者評価結果
A② A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a b c
A③ A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a b c
A④ A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a b・c
A⑤ A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a b c
A⑥ A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑦ A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑧ A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b・c
A⑨ A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c
A⑩ A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a b c

	<p>A⑪ A-1-(2)-⑩                  小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
<p>評価概要</p> <p>②保育室は、明るく元気に遊ぶ空間があり、適切な状態に保持している。発達に沿ったテーブルや椅子を整備し、遊具や本等も子どもが利用しやすい位置に設備している。トイレは、男女別で女子は扉で仕切られている。保育士は上から確認できるようになっている。園庭は、人工芝の張り替えを行い、砂遊びもできる。転んでもけがをしない素材を使用し、思い切り遊ぶことができる。</p> <p>③子どもたちへの呼び方を統一し、一人ひとりの違いに配慮した保育を心掛けている。言葉かけで変わっていく子どもの様子を職員が発表し、発達段階に応じた受容のあり方を模索しながら子どもへの理解を深めている。</p> <p>④基本的な生活習慣は、発達や家庭の状況に差があり、個性が高い。無理強いせず子どもが喜んでする時に自主性を重んじ援助している。兄弟や異年齢保育で模倣から学ぶことが多くみられる。</p> <p>⑤秋祭りの準備で子ども達は食事中も熱心に楽しく話をしている。3歳以上になると、子ども同士で出し物の工夫ができる。園庭や園外保育で野菜を育てたり小さな命の生き物を飼育している。散歩中は地域のひとと挨拶したり交通ルールを守ることを経験している。年長児は、図書館・科学館・水族館に出かけ社会体験の機会がある。</p> <p>⑥乳児保育は、身近な人と気持ちが通じ合い、保護者とも連携が取れる関わりが大切である。保育士の抱っこや離乳食・育児の相談に対応している。寝返りやハイハイ運動ができるスペースを確保し、自由に運動できている。玩具は手作りや布製を準備し清潔に配慮されている。</p> <p>⑦3歳児は、個別計画に沿って自由に自発的な活動ができている。園庭で鬼ごっこをしたり探索ごっこで目が離せない状況もある。何をすることも自我のぶつかりがある。トイレ排泄も異年齢保育で模倣する学びがあり、失敗しながら喜んでトイレ排泄ができている。遊びの中で安心して育つ支援に取り組んでいる。保護者には、子どもの状況を報告し連携している。</p> <p>⑧3・4・5歳児の保育は、各期の発達段階や個性を配慮した保育実践を行っている。秋祭り・運動会・音楽発表会・スポーツクラブ・サッカー教室など集団の中で友達と協力し一つの事をやり遂げる活動を展開できている。</p> <p>⑨障害のある子どもの保育は児童発達支援施設と並行通園に取り組んでいる。子どもが落ち着き安心できる環境を設定できるように保育士は傍にいて声掛けや見守り支援をしている。3ヶ月毎に臨床心理士の訪問があり、発達状況や対応等の支援を受けている。職員は特別支援学校の研修を受けている。</p> <p>⑩延長保育では、兄弟や異年齢の保育であり玩具や絵本・積み木で自由に遊んでいる。長時間の保育で疲れつかれないように、寝転んだり保育士に抱っこされたりゆつくりのんびり過ごしている。補食はおにぎり1個提供している。運番の保育士が担当し、昼間の子ども状況は口頭で伝えている。</p> <p>⑪就学前に保育所児童保育要録を作成し、小学校と連携している。親子面談で小学校のイメージ作りや要望・意見を把握し対応している。ひらがな・読み書き・絵描き・ドリルの学習や小学校訪問・交通安全教室・図書館等社会体験も実施している。自分の荷物は自分で準備すること・運動会終了後午睡の時間をなくしたり就学への期待と見通しを持てる保育に取り組んでいる。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>A⑫ A-1-(3)-①                  子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
	<p>A⑬ A-1-(3)-②                  健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a Ⓑ c</p>
	<p>A⑭ A-1-(3)-③                  アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a Ⓑ c</p>
<p>評価概要</p> <p>⑫健康管理マニュアルを作成している。子どもの健康状態・予防接種を記録し活用している。登園時は、体温測定・視診・保護者との対話で健康状態の把握に努めている。体調悪化やけがなどは、保育情報ソフト「コドモン」や連絡帳で報告している。事後確認し職員間で共通理解している。冬場のマラソン・歩行や体操・スポーツクラブで体力作りに取り組んでいる。SIDSの取り組みや必要な情報は、保護者に伝えていない。</p> <p>⑬健康診断や歯科健診の結果は、個別に記録され、職員に周知している。歯科健診の結果は、文書で保護者に伝え必要時受診を進めている。歯みがきは家庭と連携し取り組んでいる。</p> <p>⑭アレルギー疾患・慢性疾患は医師の指示書で対応している。医師の指示でアレルギー除去食を提供している。配膳により間違い防止にも努めている。代替え食の素材や色も工夫し、他児との相違に配慮している。</p>		

A-1-(4) 食事		第三者評価結果
A⑮ A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a (b) c
A⑯ A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a (b) c
<p><b>評価概要</b></p> <p>⑮食育計画を作成し、旬の食材を使った献立や行事食・ベランダでソーメン流しやスイカ割りをしている。子ども達が苗から育てた野菜を収穫し食事で食べる過程を知ることや自分で好きな具を選んでおにぎりを作ることも体験している。箸・スプーンの使い方、良く噛んで食べる、食事マナー、食べ切ったらおかわりができる等、子ども達が食事を楽しくできる取り組みをしている。保護者に対し玄関に食事の写真を掲示している。</p> <p>⑯農産物や添加物の少ない食材を使用し、だしは昆布・シイタケ・煮干しが多く薄味になっている。検食や残食を記録し、毎月の給食ミーティングで検討し献立や調理に活かしている。クッキングは、おやつ作りを全員で行い食材や料理と出会うきっかけになっている。調理員も子どもと一緒に食事し子どもの意見を聞く良い触れ合いの場になっている。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者評価結果
A⑰ A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭と連携を行っている。	(a) b c
<p><b>評価概要</b></p> <p>⑰送迎時に保護者との対話によって情報交換している。保育中の状況や緊急連絡は、保育情報ソフト「コドモン」で報告している。個別相談は、相談室を使用し心理面に配慮した対応をしている。離乳食の相談は栄養士が対応している。発達に不安がある場合は、臨床心理療法士のアドバイスを受けることがある。必要時園長の面談もある。子どもの発達や育児について、保護者と共通理解を深める取り組みをしている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		第三者評価結果
A⑱ A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a) b c
A⑲ A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a (b) c
<p><b>評価概要</b></p> <p>⑱保護者は、保育参観・発表会・運動会などの行事に参加し、子どもの発達や状態を知る機会を得ている。担任保育士は、子どもの発達や行動など気になる場合は、個別面談を依頼している。保護者の就労事情に配慮した相談に取り組んでいる。職員は、保護者とのより良い関係を築き、保護者が安心して子育てができるように内外研修に参加している。</p> <p>⑲虐待予防チェックシートがあり、早期発見に努めている。登園・沐浴・シャワー浴・お着替え時は視診で身体を確認している。子どもの表情・行動など気になる時は、保護者に相談することもある。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		第三者評価結果
A⑳ A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a (b) c
<p><b>評価概要</b></p> <p>⑳毎月のミーティングで保育実践を振り返り自己評価している。実践評価に限らず子どもの心の育ちや気になることも記録している。ミーティングでは自分では気づけない保育の良さや課題を確認でき、自己の保育実践に活かすようにしている。</p>		